

令和6年度畜産振興補助事業の評価結果の公表について

令和8年1月 21 日
地方競馬全国協会
畜産振興部

地方競馬全国協会(以下「NAR」という。)では、畜産振興補助事業(以下「補助事業」という。)を効果的かつ効率的に実施するため、前年度で事業実施期間が終了した補助事業を対象に評価(以下「事業評価」という。)する仕組みを導入し、客観的かつ的確な事業評価を行うにあたり、外部有識者から構成される「畜産振興補助事業評価委員会」(委員名簿は下表参照。)を設置し、意見を聴取しています。

また、NAR は、事業評価の結果を外部に公表することにより、補助事業の有効性及び透明性を確保することとしています。

令和7年度は、令和6年度に実施された補助事業(77 団体、事業件数 85 件、補助金額 2,497,269,062 円)を対象として事業評価を行い、今般その結果がまとめましたので公表します。

表. 畜産振興補助事業評価委員会委員名簿 (敬称略・50 音順)

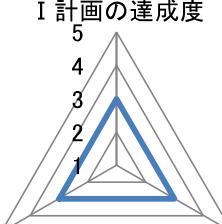
委員氏名	所 属	役 職 名	備考
秋 山 徹	公益財団法人 畜産近代化リース協会	常務理事	
伊 佐 雅 裕	公益財団法人 全国競馬・畜産振興会	業務部長	座長
小林 奈穂美	独立行政法人 農畜産業振興機構	畜産振興部管理課長	
菅 野 茂	国立大学法人 東京大学	名誉教授	
豊 田 淳	国立大学法人 茨城大学	教授	

図. 「評価の基準」



【令和6年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (5) その他 重種種馬施設等整備	事業実施主体名	南幌町農業協同組合他20団体									
補助金等の名称		機械施設等導入費、施設等整備費、重種馬生産者支援体制強化費											
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 〔NAR〕 (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱 重種種馬施設等整備事業実施要領		事業の目的	趣旨	重種馬の生産振興、担い手確保								
			実施方法	機械施設導入及び施設等整備									
			受益対象者	重種馬の生産農家									
事業の概要	<p>重種馬の生産振興を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <table> <tr> <td>①機械施設等導入</td> <td>機械施設等の導入に要する経費の一部を補助</td> </tr> <tr> <td>※南幌町農業協同組合他 16団体</td> <td>対象者及び補助率 公益社団法人日本馬事協会がNARの補助を受けて実施する「重種種馬導入」において導入するばんえい競馬現役引退雌馬の借受者(補助率:2/3) 重種種雌馬の改良増殖推進事業で過去3年間に奨励金の交付を受けた者(補助率:1/2)</td> </tr> <tr> <td>②施設等整備</td> <td>重種馬生産施設等の整備に要する経費の一部を補助</td> </tr> <tr> <td>※みついし農業協同組合他 11団体</td> <td>重種馬の飼養頭数の維持・拡大を図るため、重種馬生産に係る施設及び当該施設と一体的に整備する設備を整備する者が対象(補助率:1/2)</td> </tr> </table>					①機械施設等導入	機械施設等の導入に要する経費の一部を補助	※南幌町農業協同組合他 16団体	対象者及び補助率 公益社団法人日本馬事協会がNARの補助を受けて実施する「重種種馬導入」において導入するばんえい競馬現役引退雌馬の借受者(補助率:2/3) 重種種雌馬の改良増殖推進事業で過去3年間に奨励金の交付を受けた者(補助率:1/2)	②施設等整備	重種馬生産施設等の整備に要する経費の一部を補助	※みついし農業協同組合他 11団体	重種馬の飼養頭数の維持・拡大を図るため、重種馬生産に係る施設及び当該施設と一体的に整備する設備を整備する者が対象(補助率:1/2)
①機械施設等導入	機械施設等の導入に要する経費の一部を補助												
※南幌町農業協同組合他 16団体	対象者及び補助率 公益社団法人日本馬事協会がNARの補助を受けて実施する「重種種馬導入」において導入するばんえい競馬現役引退雌馬の借受者(補助率:2/3) 重種種雌馬の改良増殖推進事業で過去3年間に奨励金の交付を受けた者(補助率:1/2)												
②施設等整備	重種馬生産施設等の整備に要する経費の一部を補助												
※みついし農業協同組合他 11団体	重種馬の飼養頭数の維持・拡大を図るため、重種馬生産に係る施設及び当該施設と一体的に整備する設備を整備する者が対象(補助率:1/2)												
補助金額 (円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考								
		205,795,000	207,103,000	246,725,398									
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>				<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>								
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義									
			S	視点別評価の合計点が14点以上(15点満点)									
			A	視点別評価の合計点が11点以上14点未満									
			B	視点別評価の合計点が8点以上11点未満									
			C	視点別評価の合計点が5点以上8点未満									
	合計点	9	D	視点別評価の合計点が5点未満									
判定(ランク)		B											

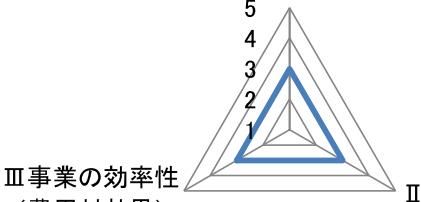
【令和6年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	II 畜産経営技術指導事業 (1) 地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会	
補助金等の名称	畜産経営支援体制強化推進費、地域畜産活性化・食の安定供給対策推進費				
根拠	<p>【要綱、事業実施要領、その他】</p> <p>〔NAR〕 (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱</p> <p>〔事業実施主体〕</p> <p>①総括畜産コンサルタント資格試験実施要領 ②令和6年度畜産関係団体調整機能強化事業 委託要領 ③令和6年度全国優良畜産経営管理技術発表会 開催要領</p>		事業目的	趣旨	畜産経営の安定及び高度化
			実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・経営指導技術の向上のための指導 ・総括畜産コンサルタント試験の実施 ・地域畜産協会業務の円滑化の推進 ・畜産関係団体の調整機能の強化等 ・畜産情報の提供 	
			受益対象者	地域畜産協会 畜産農家、一般消費者等	
事業の概要	<p>道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる業務及び道府県畜産協会等の支援指導を行う次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 畜産経営の支援体制の強化を図る事業 〈道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる事業〉 ・総括畜産コンサルタント資格試験の実施(試験委員:10名、書類審査、面接試験、受験者37名、合格者20名) ・畜産会業務円滑化推進業務の実施(ブロック会議への派遣12回延べ19名、中央打合会3回) ・新任基礎研修(研修者数53名、計3回/いずれも対面開催) ・管理責任者等研修(研修者:延べ324名、計3回/いずれも対面開催) ・女性職員研修会(研修者:41名、計1回/対面開催) ・経営指導従事者研修(研修者延べ26名、計2回/いずれも対面開催) ・海外畜産事情研修(研修者:計7名、17日間(オーストリア・イタリア・スイス訪問)) ・農林水産省中央畜産技術研修会への畜産会会員の参加支援(派遣者数延べ94名、計22講座) (うち研修旅費一部補助者延べ45名) ・総括畜産コンサルタント研修(研修者数27名、計1回/対面開催) ・経営指導成果普及検討事業(全国優良畜産経営管理技術発表会(令和6年11月28日))</p> <p>ii 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業 〈畜産関係団体の活性化及び連携強化と生産者を中心とする支援組織づくりの推進〉 ・畜産関係団体の調整機能の強化事業(50団体:道府県畜産協会等) ・畜産経営相談窓口機能設置事業(51団体:道府県畜産協会等) ・畜産情報提供事業(生産技術情報提供、電算処理、出版事業)</p> <p>iii 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業 ・地方競馬開催支援促進事業(競馬開催11道県)</p>				
事業の内容	補助金額 (円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
		255,318,000	283,742,000	279,538,525	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>				
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	S	視点別評価の合計点が14点以上(15点満点)			
	A	視点別評価の合計点が11点以上14点未満			
	B	視点別評価の合計点が8点以上11点未満			
	C	視点別評価の合計点が5点以上8点未満			
	D	視点別評価の合計点が5点未満			
合計点	9				
判定(ランク)	B				

【令和6年度畜産振興事業評価結果】

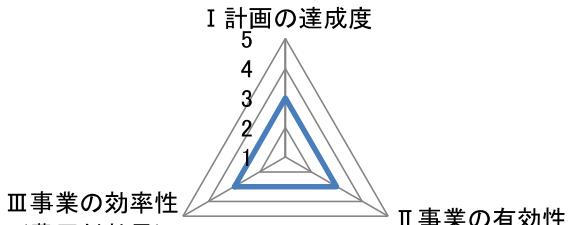
地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	II 畜産経営技術指導事業 (1) 地域畜産支援指導等体制強化	事業実施主体名	(一社)北海道酪農畜産協会 他全国45団体		
補助金等の名称	畜産経営支援体制強化推進費、地域畜産活性化・食の安定供給対策推進費、馬事普及啓発推進費				
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 【NAR】 (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱	事業の目的	趣旨	地域畜産経営の安定及び高度化	
			実施方法	畜産農家に対する経営指導、地域畜産の普及啓発、馬事畜産振興等	
			受益対象者	畜産農家、一般消費者等	
事業の概要	道府県の支援を受けて、地域畜産経営の安定及び高度化を図る次に掲げる事業を実施した。 ア 畜産経営の支援体制の強化を図る事業 高度な経営技術を基礎とした効率的で生産性の高い畜産経営の発展を推進するため、畜産農家等に対して、経営診断による改善指導、フォローアップ指導等の経営指導を行い、ホームページ等で広く経営情報を提供し、畜産経営技術の高度化及び経営改善を図ること等を目的とした事業の実施 イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業 地域畜産の実情に応じたブランド化事業等の推進や食育及びふれあい体験活動を通じた畜産の普及啓発、家畜伝染病や食肉の安全性等の情報を正確に伝達し、国内畜産への理解醸成と国産食肉の安全安心の周知を図ること等を目的とした地域畜産の活性化のための事業や、一般消費者への普及・PR活動、畜産物の安全かつ安定的供給に資する事業の実施 ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業 地方競馬の開催日等に合わせた観戦ツアー、畜産フェア等のイベントの実施や、各種イベントにおける馬事振興などを実施し、地域における馬事・畜産の普及啓発を図ること等を目的とした事業の実施				
	補助金額 (円)		令和4年度 699,215,000		
	令和5年度 992,465,000		令和6年度 998,357,055		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	S		視点別評価の合計点が14点以上(15点満点)		
	A		視点別評価の合計点が11点以上14点未満		
	B		視点別評価の合計点が8点以上11点未満		
	C		視点別評価の合計点が5点以上8点未満		
判定(ランク)	B	D	視点別評価の合計点が5点未満		

【令和6年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	II 畜産経営技術指導事業 (2)その他 馬の装蹄技術講習及び装蹄師の養成	事業実施主体名	公益社団法人 日本装削蹄協会	
補助金等の名称	馬の装蹄技術講習費及び馬の装蹄師の養成費			
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 〔NAR〕 (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱 〔事業実施主体〕 馬装蹄技術向上研究会実施要領 国際装蹄技術交流事業実施要領	事業の目的	趣旨	馬の装蹄技術の研修及び普及
			実施方法	馬の装蹄師の養成及び認定 装蹄技術の調査研究及び普及奨励
			受益対象者	生産者等馬関係者 地方競馬場装蹄師
事業の概要	現役の馬装蹄師の技術向上及び馬装蹄師を目指す者を養成するため、次に掲げる事業を実施した。 i 馬装蹄技術向上研究会 ①全国の地方競馬場を7ブロックに区分け、令和6年度は九州地区(佐賀競馬場)、中部地区(金沢競馬場)を選定し、地方競馬場装蹄師及び馬関係者を対象にした研修会を開催した(佐賀競馬場:参加者10名、金沢競馬場:参加者10名)。 ②最新の装蹄技術とその理論的な背景の習得を目的として、競馬先進国である米国で開催される米国装蹄競技へ4名(うち随行2名)派遣した。また、令和5年度の派遣者による帰国後の報告研修会を実施した(参加者40名)。 ii 馬装蹄師の養成 ①事業実施主体が有する装蹄教育センター(宇都宮)で行う1年間の装蹄師講習会(装蹄師認定講習会)の一環として行う、より実践的な実技研修のため、地方競馬教養センター(栃木県那須塩原市)での実馬を用いた学外装蹄実習を開催(1回あたり受講者数8名の2班体制で、18回)。 ②特殊装蹄法を応用した実践的な装蹄法の体験実習や、地方競馬場における厩舎関係者や開業装蹄師の就業状況についての見学を園田競馬場で実施。			
補助金額(円)	令和4年度 10,966,000	令和5年度 13,856,000	令和6年度 14,245,000	備考

視点別評価	I 計画の達成度 	【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)

総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義
	S	視点別評価の合計点が14点以上(15点満点)	A	視点別評価の合計点が11点以上14点未満
	B	視点別評価の合計点が8点以上11点未満	C	視点別評価の合計点が5点以上8点未満
	D	視点別評価の合計点が5点未満		
合計点	9			
判定(ランク)	B			

【令和6年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		II 畜産経営技術指導事業 (2)その他 畜産技術情報収集・提供事業	事業実施主体名	公益社団法人 畜産技術協会	
補助金等の名称		調査費、研修等開催費、技術情報提供費、推進事務費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] (令和6年度)畜産技術情報収集・提供事業実施要領	事業の目的	趣旨	最新の畜産技術情報を収集・選定し、畜産関係者に提供する
		実施方法		・具体的な取組事例等の調査 ・研修会等の開催への支援 ・情報誌の寄贈、Web上での技術情報公開	
		受益対象者		畜産関係者	
事業の概要	事業の内容	生産現場ならびに畜産技術者のニーズに合った情報の調査・収集を行うとともに、各県及びブロック単位での研修会の開催やJ-STAGE(科学技術振興機構が運営するサイト)での記事公開、本事業にて令和5年度に構築・運用開始したWebサイトでの記事公開等を実施することで、畜産関係者に対して畜産技術情報を継続的に広く提供し、畜産技術の普及・定着を図る。			
		1.畜産技術情報収集事業 ・専門家による検討を踏まえた技術情報の選定 ・生産現場等における具体的な取組事例等の現地調査			
		2.畜産技術情報提供事業 ・都道府県、試験研究機関、畜産経営者等を対象とした研修会開催に対する補助及び協会主催による開催 ・農業関係教育機関への情報誌「畜産技術」の寄贈及びインターネットでの情報発信			
視点別評価	補助金額(円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
		18,642,000	22,598,000	20,534,123	
総合評価	<p>I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性 (費用対効果)</p>				<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性 (費用対効果)</p>
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	S	視点別評価の合計点が14点以上(15点満点)	
			A	視点別評価の合計点が11点以上14点未満	
			B	視点別評価の合計点が8点以上11点未満	
			C	視点別評価の合計点が5点以上8点未満	
	判定(ランク)	B	D	視点別評価の合計点が5点未満	

【令和6年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ畜産経営合理化事業 4草地・飼料の有効利用促進 その他 放牧を中心とした持続的畜産普及拡大推進	事業実施主体名	一般社団法人 日本草地畜産種子協会	
補助金等の名称		放牧指導者等育成研修会開催費、現地指導・課題調査費、認証拡大・関係者交流促進費、消費者理解醸成・情報提供・交流会開催費、推進事務費			
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 〔NAR〕 (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱 〔事業実施主体〕 ①放牧等持続的畜産普及促進事業実施要領 ②放牧畜産研修牧場設置要領 ③放牧畜産実践展示牧場設置要領	事業の目的	趣旨	持続的な畜産経営の実現のための放牧の推進	
			実施方法	放牧指導者等育成のための研修会の開催 放牧指導者による現地指導、課題調査 消費者理解醸成・情報提供、交流会開催 放牧等持続的畜産推進のための検討委員会の開催等	
			受益対象者	都道府県、畜産関係団体、畜産農家等	
事業概要	放牧の推進により持続的な畜産経営の実現を目指し、食糧自給率の向上に資するため、以下の事業を実施した。 (1) 放牧指導者等育成研修会開催 ・放牧技術の向上を図るため、普及関係機関や生産者等に対する研修会をオンライン方式で1回開催(参加者329名) (2) 指導者による現地指導、課題調査等 ・放牧アドバイザー等を派遣した現地指導を延べ23か所で実施し、課題やニーズを把握するため3か所で調査を実施した。 ・放牧アドバイザー等による現地確認を延べ52か所で実施し、放牧畜産基準認証の拡大推進を実施した。新たに16件を認証し認定数は157件に(令和7年3月末現在) (3) 消費者理解醸成・情報提供、交流会開催 ・放牧畜産物の普及を図るため、日本最大の農業総合展へ出店し、パネル展示、放牧酪農乳製品の展示販売等を行った。 ・放牧畜産物を生産している牧場の紹介動画(5か所)を作成、事業実施主体のHPで紹介 ・消費者との交流会等を開催 放牧酪農乳製品フェア(8/8-9 新千歳空港、1/25-26 新宿区神楽坂)、消費者交流会(10/16-17 忠類農協：北海道) (4) 検討委員会の開催等放牧等持続的畜産推進 ・事業の企画、普及啓発のためのホームページの活用策及び作成、消費者との交流促進や推進活動、放牧指導育成研修会についての内容を検討するため、計3回検討委員会を実施し、推進委員による現地調査も実施した。	事業の内容	備考		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
			39,691,000	42,623,000	44,950,719
視点別評価					【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)
総合評価			評価結果		ランク
	合計点	10	S	視点別評価の合計点が14点以上(15点満点)	
			A	視点別評価の合計点が11点以上14点未満	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上11点未満	
			C	視点別評価の合計点が5点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が5点未満	

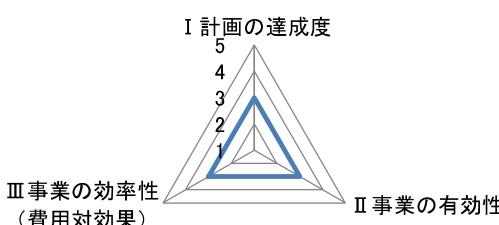
【令和6年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ畜産経営合理化事業 4 草地・飼料の有効利用促進 その他 飼料用稻專用品種普及推進	事業実施主体名	一般社団法人 日本草地畜産種子協会		
補助金等の名称		推進委員会等開催費、技術実証費、技術指導費				
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 研修会開催要領	事業の目的	趣旨	耕畜連携による飼料基盤として確実に定着してきた飼料用稻について専用品種の普及及び栽培利用技術の改善を図る		
			実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施のための推進委員会の開催 ・現状問題点等を討議する連絡協議会の開催 ・実証ほ場の設置 ・WEBを活用した情報等の発信 ・地域研修会、専門家派遣による指導 		
			受益対象者	都道府県、畜産関係団体、農家等		
事業の概要	<p>食料安全保障の確保及びコストの低減を図りつつ、持続可能な畜産を確立し、地域の実情に応じた国産飼料の生産・利用の拡大を進めるため、以下の事業を実施した。</p> <p>(1)飼料用稻專用品種普及推進委員会等事業 ・事業の実施状況等について説明、委員からの助言を得た。1回</p> <p>(2)飼料用稻專用品種種子安定供給推進事業 ・種子の地域への安定供給を図るための現地連絡協議会を開催した(1回、参加者15名)。 ・飼料用稻專用品種パンフレット作成(冊子35,000部、HP掲載)と配布(九州ホルスタイン共進会)</p> <p>(3)飼料用稻專用品種普及推進技術実証事業 ・4品種、計9か所の実証ほ場を設置し、生育状況、収量、出穂期等の調査を行った。 また、そのうち、3か所のほ場と実証ほ場以外の1か所において、単収や生産コストの要因分析を行った。 ・WEBメディアを活用した飼料用稻專用品種の品種特性や生産・利用技術に係る基本情報の電子記事を民間配信サイトに掲載した。</p> <p>(4)飼料用稻專用品種普及推進技術指導事業 ・生産技術等の普及のための地域研修会を開催した(全国:一部WEB併用 6回 参加者358名)。 ・専門家派遣による生産・利用技術等の指導(全国:一部WEB併用 10回)。</p>					
事業の内容	補助金額(円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考	
		—	—	16,051,230		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>				<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
			S	視点別評価の合計点が14点以上(15点満点)		
			A	視点別評価の合計点が11点以上14点未満		
			B	視点別評価の合計点が8点以上11点未満		
			C	視点別評価の合計点が5点以上8点未満		
	合計点	9	D	視点別評価の合計点が5点未満		
	判定(ランク)	B				

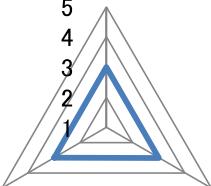
【令和6年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ畜産経営合理化事業 4 草地・飼料の有効利用促進 その他 飼料用作物優良品種普及活用	事業実施主体名	一般社団法人 日本草地畜産種子協会		
補助金等の名称		推進委員会等開催費、栽培・利用技術普及指導費、啓発普及活動費、優良事例調査費、飼料作物安定生産対策費				
根拠	<p>【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱</p> <p>[事業実施主体] 研修会開催要領</p>	事業の目的	趣旨	飼料基盤に立脚した持続的・安定的な畜産経営の確立		
事業の概要			実施方法	事業実施のための推進委員会の開催 専門家の派遣による技術指導 技術情報等の発信 優良事例の調査・普及 海外での栽培状況等の調査		
			受益対象者	都道府県、畜産関係団体、農家等		
事業の内容		<p>食料安全保障の確保及びコストの低減を図りつつ、持続可能な畜産を確立し、地域の実情に応じた国産飼料の生産・利用の拡大を進めるため、以下の事業を実施した。</p> <p>(1)飼料作物優良品種普及推進委員会等事業 ・事業の実施状況等について説明、委員からの助言を得た。1回</p> <p>(2)栽培・利用技術等に係る普及・指導 ・県、農政局等と共に各地域で研修会を開催した(一部WEB 計10回、参加者759名)。 ・中央研修会として、全国飼料増産シンポジウムを開催した(WEB 1回、参加者487名)。 ・専門家派遣による技術指導として講演会を行った(1回:岐阜)。</p> <p>(3)啓発普及活動の実施 ・自給飼料増産に係る技術情報解説資料を作成、配布した(協会会員、行政機関等 2,800部)。 ・飼料作物優良品種に係る普及資料の作成、配布(行政機関、農協等 28,000部)及び新聞広告に優良品種紹介記事を掲載した(2回)。</p> <p>(4)優良事例調査の実施 ・自給飼料生産・利用に係る優良事例について学識経験者等による経営実態に関する現地調査を実施した(3箇所)。 ・現地調査の企画及び調査結果の検討のための専門家委員会を開催(2回)、優良事例集をまとめた(HPに掲載)。</p> <p>(5)飼料作物安定生産対策 ・現地における栽培管理等の生産に係る情報の調査、現地法人との意見交換などを実施した(欧州4か国)。</p>				
補助金額(円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考		
	—	—	31,915,759			
視点別評価	 <p>I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)</p>		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
			S	視点別評価の合計点が14点以上(15点満点)		
			A	視点別評価の合計点が11点以上14点未満		
	合計点	9	B	視点別評価の合計点が8点以上11点未満		
	判定(ランク)	B	C	視点別評価の合計点が5点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が5点未満		

【令和6年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ畜産経営合理化事業 5その他 畜産におけるアニマルウェルフェアの普及推進	事業実施主体名	公益社団法人 畜産技術協会
補助金等の名称		検討会開催費、広報資材作成費、シンポジウム等開催に必要な経費、推進事務費		
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 畜産におけるアニマルウェルフェアの普及推進 事業における委託計画書	事業の目的	生産者や消費者等に対して、畜産のアニマルウェルフェアの普及推進を図る。 実施方法 ・広報資材の作成 ・シンポジウム等の開催 受益対象者 畜産関係者、消費者
	事業の内容	アニマルウェルフェア(以下、AW)に関する普及推進広報資料(生産現場向け、消費者向け)を作成・配布するとともに、幅広い関係者を対象としたシンポジウム等を開催することで、生産者や消費者等がAWに配慮した家畜の飼養管理等への理解を深める。		
	補助金額 (円)	令和4年度 —	令和5年度 —	令和6年度 28,833,381
視点別評価	<p align="center">I 計画の達成度</p>  <p align="center">III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p align="center">II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)</p>
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義
	合計点	9	S	視点別評価の合計点が14点以上(15点満点)
			A	視点別評価の合計点が11点以上14点未満
	判定(ランク)	B	C	視点別評価の合計点が8点以上11点未満
			D	視点別評価の合計点が5点以上8点未満

【令和6年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 馬事畜産振興推進	事業実施主体名	馬事畜産振興協議会	
補助金等の名称	馬事畜産振興推進費			
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 〔NAR〕 (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱 〔事業実施主体〕 令和6年度馬事畜産振興推進事業実施要領	事業の目的	趣旨 地方競馬の畜産振興への寄与についてのPR 畜産物の消費拡大 地方競馬支援	実施方法 畜産フェア等の実施、冠競走への支援等
			受益対象者 一般消費者等	
事業の概要	地方競馬における畜産振興への取組をPRするため、次に掲げる事業を実施した。 1 道府県馬事畜産協議会活動(地方競馬支援・畜産・畜産物の普及啓発) ・冠競走実施、畜産フェアの開催及び競馬見学会等【各地方馬事畜産協議会に対応】 2 中央支援 (1)畜産フェア ・イベント(競馬の社会貢献性を普及啓発する資料と畜産物を提供) ①国際養豚養鶏総合展(IPPS)2024(4/24~/26)(サンプリングキット4,500セット配布) ②動物感謝デー(ブース出展、サンプリングキット及び横濱ビーフレトルトカレーを500セット配布) ③東京食肉市場まつり(サンプリングキット3,000セット配布) ④畜産フェアinばんえい十勝(帯広競馬場・3月・サンプリングキット及びLL牛乳1,500セット配布) ・WEB畜産キャンペーン 特設サイトを設置し、クイズ回答者に抽選で畜産物をプレゼントするキャンペーンを年6回実施。 (2)家畜が係わる伝統行事支援(平成30年度より実施) チャグチャグ馬コヤ相馬野馬追等、全国各地の家畜が係わる伝統行事の保存活動を支援 (3)地域畜産物の贈呈 ・ダートグレード競走等基幹競走23競走の優勝馬主等(23名) ・地方競馬シリーズ競走上位騎手(3名×3シリーズ) (4)地方競馬主催者等のキャンペーンへの地域畜産物贈呈 (5)地方競馬の公益プロモーションビデオの広報活動 R3年度に作成したプロモーションビデオを競馬場、インターネット、イベント出展ブースで放映 (6)地方競馬ミルクウィーク(3月14日～3月20日)の実施(牛乳製品普及対策) ①地方競馬場での牛乳・ヨーグルト等の配布 道府県協議会と連携を図り、全国13の地方競馬場において地域の牛乳・ヨーグルト等を来場者に配布 ②地方競馬場での冠レースの実施及び副賞(乳製品)の提供 期間中、競馬開催のあった地方競馬場11場(延べ13場)において、冠レースを実施し、副賞として優勝馬の馬主・騎手・調教師・厩務員等に地域の乳製品を贈呈 ③地方競馬ミルクウィークの広告宣伝及びWEBキャンペーンの実施 取り組みを一般消費者に広く周知するために、特設サイトを作成し、広告宣伝を実施 また、乳製品ギフトを提供するWEBキャンペーンを実施(2月21日～3月20日)			
事業の内容	補助金額(円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		146,364,000	145,241,000	182,103,305
備考				R6から牛乳製品普及対策を当事業に移管
視点別評価	I 計画の達成度 III 事業の効率性(費用対効果) II 事業の有効性	【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
総合評価	評価結果 合計点 判定(ランク)	ランク S A B C D	ランクの定義 視点別評価の合計点が14点以上(15点満点) 視点別評価の合計点が11点以上14点未満 視点別評価の合計点が8点以上11点未満 視点別評価の合計点が5点以上8点未満 視点別評価の合計点が5点未満	
	10 B			

【令和6年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事 業 名	V その他畜産振興事業 その他 畜産物の適正な価格形成に向けた 理解醸成対策	事 業 実 施 主 体 名	公益社団法人 中央畜産会
補 助 金 等 の 名 称	検討会議開催費、広報活動費、推進事務費		
根 拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱 【事業実施主体】	事業 の 目的	趣旨 生産コストの高騰に合わせた畜産物価格の設定に対し消費者の理解醸成を図る
			実施方法 広報資材の作成及び各種メディアへの掲出
			受益対象者 一般消費者、畜産農家等
事 業 の 概 要	<p>国際的な物価高騰や為替レートの円安基調、ウクライナ情勢等による穀物価格の高騰により、飼料、資材価格が著しく高騰している状況下において、わが国ではそうした飼料高騰等による生産コストが増大した分を小売価格に十分反映できているとは言えず、酪農家をはじめとした畜産農家の経営は非常に厳しいものとなっている。</p> <p>こうした苦境を開拓するため、畜産物の生産現場の実態を消費者と共有することで畜産業への現状理解を図り、小売価格に上昇した生産コストを転嫁することへの理解を共有するための事業を以下のとおり行った。</p> <p>(1)検討会議開催 ・継続的な情報発信と効果的な広告掲出計画についての意見交換を実施した。 ・今年度の広報資材の内容等を検討するため関係機関及び広告制作業者等と打合せを実施した。</p> <p>(2)広報活動事業 ・令和6年度前期については、前年度作成した制作物を活用し、新聞、テレビ、電車内で広告掲載を行った。 ・令和6年度後期については、新たな制作物を活用し、以下の媒体を利用した広報活動を展開した。 新聞、テレビ、 交通機関(駅構内、電車内、空港)でのサイネージ SNS(ユーチューブ、インスタグラム、X、スマートニュース他) 各種月刊誌、リビング新聞 県(市町村)広報誌、全国規模でのテレビCM</p>	事業 の 内 容	
補 助 金 額 (円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	—	471,575,697
視 点 別 評 価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>		
総 合 評 価	評 価 結 果		ランク
			S
			A
	合 计 点	10	B
	判 定(ランク)	B	D

【令和6年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		V その他畜産振興事業 畜産振興特別対策(2025日本国際博覧会の食材の調達コードを満たす畜産物供給促進)	事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会
補助金等の名称		実需者向け食材の調達コードを満たす畜産GAP等認証取得農場の情報の収集・整理費、マッチング商談会等の運営費、個別・団体認証支援費、推進事務費		
	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 2025日本国際博覧会の食材の調達コードを満たす畜産物供給促進事業委託要領	事業の目的	趣旨 万博への食材調達コードを満たす畜産物の調達を確保 実施方法 ・認証取得農場と食材供給業者とのマッチング促進 ・認証取得に対する補助 受益対象者 生産者、畜産関係団体、食品関係業者
事業の概要	事業の内容	2025年大阪・関西万博の開催にあたり、万博への食材調達コードを満たす畜産物の調達を確保するため、食材調達コードを満たす畜産物個別基準(畜産GAP等)の認証取得支援や食材供給予定業者と認証取得に取り組む農場のマッチングの促進を実施した。 i マッチングの促進 ii 認証取得支援		<ul style="list-style-type: none"> ・広報資材の作成(JGAP認証農場の実践事例集、JGAP及び農場HACCP認証に関する動画やパンフレット等) ・マッチング商談会の開催(東京、大阪) ・食材供給予定業者向けのコンタクトリストの作成 ・個別マッチング商談の斡旋 ・専用サイトの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・農家がJGAP及び農場HACCPの認証を取得する際に必要となる審査費用等に対する一部補助 ・農家が農場HACCPの持続可能性配慮指定を受ける際に必要となる審査費用等に対する一部補助
	補助金額(円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		—	—	44,917,049
視点別評価				<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)</p>
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義
	S			視点別評価の合計点が14点以上(15点満点)
	A			視点別評価の合計点が11点以上14点未満
	B			視点別評価の合計点が8点以上11点未満
	C			視点別評価の合計点が5点以上8点未満
合計点	9	D	視点別評価の合計点が5点未満	
判定(ランク)	B			

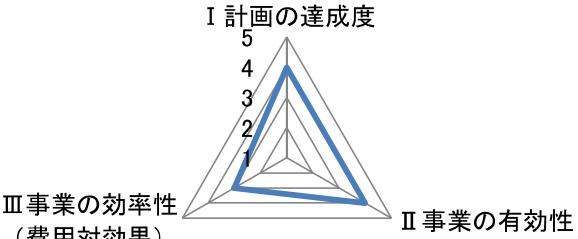
【令和6年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		V その他畜産振興事業 畜産振興特別対策(鶏肉生産におけるカンピロバクター菌低減対策推進)	事業実施主体名	一般社団法人 日本食鳥協会
補助金等の名称		検討会開催費、調査費(国内、海外)及び推進事務費		
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 〔NAR〕 (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱 〔事業実施主体〕 鶏肉生産におけるカンピロバクター菌低減対策推進事業実施要領 鶏肉生産におけるカンピロバクター菌低減対策推進事業に係る委託要領	事業の目的	趣旨 実施方法 受益対象者	消費者への安全な鶏肉の提供 優良取組事例調査のためのアンケート 優良取組事例集の作成 生産者、養鶏関連団体 都道府県
事業の概要	鶏肉消費量の増加と堅調な需要を背景に生産量も増加する中、消費者へ安全な鶏肉を提供するため、次に掲げる事業を実施した。 i 優良事例とりまとめ 検討会の開催 国内の農場における飼養衛生管理の優良取組み事例をとりまとめ、検討会を開催する。今年度他事業の検討会と検討内容、委員に被りがあり、検討会の開催には至らなかった。 ii 取組み事例調査 ①鶏肉生産加工会員に調査協力を依頼し、国内肉用鶏農場における取組み事例についてアンケート調査を実施し、その結果を優良取組事例集にとりまとめた。 ②諸外国における鶏肉の飼養衛生管理に係る取組について、外部リソースを活用し、検討会を開催し、報告書をとりまとめた(委託)。 ③カンピロバクター対策への生産者の取組みをポータルサイトを開設して消費者へ広く発信した。			
	補助金額 (円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		—	—	33,213,968
視点別評価				<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)</p>
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義
	S	視点別評価の合計点が14点以上(15点満点)		
	A	視点別評価の合計点が11点以上14点未満		
	B	視点別評価の合計点が8点以上11点未満		
	C	視点別評価の合計点が5点以上8点未満		
D	視点別評価の合計点が5点未満			
合計点	8			
判定(ランク)	B			

【令和6年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		V その他畜産振興事業 畜産振興特別対策(ランピースキン病まん延防止自主対策促進)	事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会	
補助金等の名称		ランピースキン病感染拡大防止対策奨励費、事業推進費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和6年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] (令和6年度)事業実施要領	事業の目的	趣旨	牛の自主淘汰及び再導入を推進しランピースキン病まん延防止を図る
	事業の内容	令和6年11月に国内で初めてランピースキン病(以下「本病」という。)の発生が確認された。本病は届出伝染病であり、自主淘汰により感染拡大防止を図る際に国等の支援がない状況にあるが、本病発生農場の牛をすみやかに淘汰することが感染拡大を防止するうえで非常に重要となる。 このことから、発生農場の牛や発生農場から移動してきた牛を淘汰し、併せて経営継続のために牛を再導入する取り組みを行う者に対し奨励金を交付することで、もって本病の拡大防止と発生地域の畜産の維持に資するものとする。	実施方法	・奨励金の交付	
	補助金額(円)	令和4年度 —	令和5年度 —	令和6年度 51,913,105	備考
視点別評価					<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	S	視点別評価の合計点が14点以上(15点満点)			
	A	視点別評価の合計点が11点以上14点未満			
	B	視点別評価の合計点が8点以上11点未満			
	C	視点別評価の合計点が5点以上8点未満			
判定(ランク)	A	D	視点別評価の合計点が5点未満		